
第 1 回

散布小中学校小中一貫教育校開設推進委員会

日時：令和 7 年 9 月 11 日 18:00～

場所：散布小中学校 2F 図書コーナー

■次第■

1 開会

2 校長挨拶（小中一貫型小学校・中学校移行に向けて）

3 推進委員・事務局紹介

4 会長選出

5 議事

①推進委員会のスケジュールについて

②新しい学校づくりに向けての地域・保護者の願いについて

③次回会議について

6 新会長挨拶

7 閉会

【資料１】

散布小中学校小中一貫教育校開設推進委員会委員名簿

	名 前	所 属	備 考
1	田中 英明	散布漁業協同組合組合長	
2	阿部 浩和	散布小中学校ＰＴＡ 顧問	
3	泉谷 大輔	散布小中学校ＰＴＡ 顧問	
4	南 光晴	散布小中学校ＰＴＡ 会長	
5	鈴木 速人	散布小中学校ＰＴＡ 副会長	
6	増井 望美	散布小中学校ＰＴＡ 役員選考委員長	
7	荒川 浩一	北海道教育大学釧路校 へき地教育アドバイザー	
8	寺田 順	浜中町教育委員会 指導室長	オブザーバー
9	楠美 健也	散布中学校 教諭	
10	富岡 昭年	散布小学校 教諭	
11	大山 淳子	散布小中学校 校長	
12	和田 繁	散布小中学校 教頭	事務局

【資料 2】

小中一貫教育校開設推進委員会スケジュール

【令和 7 年度】

回	時 期	内 容
第 1 回	9 月 11 日（木）	○会長・副会長選出 ○会議のスケジュールについて ○新しい学校づくりに向けて保護者地域の願い
第 2 回	10 月 16 日（木）	○めざす子どもの姿について ○学校名及び校章・校歌について ○学校教育目標の見直しについて
第 3 回	11 月 20 日（木）	○学校教育目標について ○専門委員会の設立について （検討内容例） ・教育課程 ・日課表 ・行事 ・制服ジャージ ・部活動同好会 ・特色ある学校づくり（海洋教育） ・児童生徒会 ・校則 ・安全対策
第 4 回	12 月 11 日（木）	○専門委員会の構成・メンバー・協議内容について ○今後の活動に向けて
第 5 回	未定	○専門委員会の活動報告 ○次年度に向けて

【令和 8 年度】

回	時 期	内 容
第 6 回	未定 5～7 月の予定	○会長・副会長の確認 ○専門委員会の活動報告 ○今年度の活動について
専門委員会ごとの検討・活動		
第 7 回	未定 9～10 月の予定	○専門委員会の活動報告 ○新たな学校経営計画について
第 8 回	未定 11 月～12 月の予定	○専門員会の活動報告 ○小中一貫校開校に向けて
第 9 回	未定	○小中一貫校開校に向けての最終確認 ○今後の方向性について

【浜中町教育目標】

- 自然に親しみ、豊かで活気ある郷土をつくる人
- 他を思いやり、ともに生きる温かな社会をつくる人
- 体力を増進し、健康でうまいのある生活をつくる人
- 進んで学び、明るい家庭や社会をつくる人
- 地域の文化を高め、安全で平和な町をつくる人

令和7年度 浜中町立散布小中学校 グランドデザイン

【経営理念】

学校は 教育を通して ふるさと そして 世界の よりよい未来づくりに 貢献するところ

【保護者・地域の願い】

- 自分で考え、責任ある行動ができる
- 思いやりの心と感謝の気持ちをもつ
- より高い目標をもち、達成を目指してやり遂げる
- ふるさと「散布」のよさを知り、誇りをもてる

【児童・生徒の実態】

- 素直で思いやりがある
- 下級生の面倒見がよい、やさしい
- 主体性
- 望ましい生活習慣、学習習慣の定着

【目指す学校像】

- 「通いたい」「通わせたい」「通わせてよかった」「働きたい」と誇りに思う学校
- うちの学校は「いい学校」と自慢できる、応援していただける学校

学校教育目標

進んでやりぬく子ども

- みんな仲良く生活する 子ども
- 深く考え進んで勉強する 子ども
- 健康な体と心をつくる 子ども
- きまりを守り最後までやりぬく 子ども
- 身のまわりを美しくできる 子ども

【目指す人間像】

- 15 歳の人間像：進むべき道を自己決定し、主体的に行動して粘り強く実現に向け努力する人
- 12 歳の人間像：多様な人とのかかわりを通して自分のよさを理解し、夢を見つけ進んで学ぶ人
- 10 歳の人間像：自分のことは自分ででき、仲間とともに成長する人
- 8 歳の人間像：みんなとなかよく楽しく学ぶ人

意思決定の基準となる価値

子供、教職員、保護者そして地域の「幸せ」につながるか

「挑戦（まずはやってみよう）」「振り返り」「（すぐに）改善」

学校経営方針3つの重点と具体に向けた重点目標

すべての教育活動を通して児童生徒のよさを生かし、「生きる力」を育てます

① 確かな学力の育成

- ・「授業で勝負」。授業を通して「人間を育てる」
- ・「教師は授業に、児童生徒は学びに楽しくて仕方がない」魅力ある授業を目指し、日々授業改善を図る
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実。育成を目指す資質・能力、「何が身についたか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を重視した授業改善

② 豊かな心の育成

- ・考え、議論する道徳科の授業の充実
- ・心理的安全性のある学級経営と生徒指導の充実
- ・「いじめ」「望ましい生活のあり方」について考え、行動する児童生徒会活動

③ 健やかな体の育成

- ・望ましい生活習慣についての指導、朝運動などの場の提供を通し運動意欲の喚起
- ・安全教育の充実～自分の命は自分で守る資質・能力の育成、誰一人自然災害の犠牲にしない

④ 9 年間の成長を見据えた連続した一貫性のある教職員の関わり

- ・小中併置校の特色（よさ）を活かした教育活動の充実～教員の授業乗り入れ、情報共有による児童生徒理解
- ・各段階（15 歳、12 歳、10 歳、8 歳）の姿を具体的にイメージした、全教職員による教育活動

⑤ キャリア教育

- ・働く意義、自らの生き方を主体的に考えようとする態度の育成
- ・総合的な学習の時間、学校行事と関連付けた教科横断的な学びの充実

学校と保護者・地域が目指す方向を同じくした「ともにある学校」づくりを目指します

① 子供の姿で信頼される開かれた学校づくり

- ・ホームページ等を活用した積極的な情報発信
- ・保護者（家庭）、地域との信頼関係の構築～日常からのコミュニケーション

② 学校運営協議会の工夫と充実

- ・海洋教育、安全教育

③ 小中一貫校への移行に向けた取組

- ・開校準備委員会を組織して、新たな「散布の学校」開校に向けた取組

教職員一人一人のよさが発揮できる学校を目指します

① 心理的安全性の高い職場の雰囲気づくり

- ・教職員にとって「生きがい」「働きがい」のある職場の雰囲気の醸成

② 充実した研修による学び続ける教職員集団

- ・教職員の資質・能力（人間性、授業力など）の向上を図る研修の充実
- ・日々アップデートする、学び続ける教職員集団

【目指す教師像】

- 子供に教育的愛情を持って寄り添い、一緒に成長する教師
- 自ら学び続け、前向きに挑戦する教師
- 保護者・地域と願いや思いを共有し、教育を通して地域の発展に貢献できる教師

③ 学校における働き方改革

- ・校務支援システム、ICTを活用した効果的・効率的に働く職場環境づくり

令和7年度 浜中町立散布小中学校「第1回学校評価」集計
□児童生徒41・保護者41・教員15<回収率100%(97/97)> ☆評価は「そう思う4～思わない1」

目指す 子どもの姿	No.	評価項目	設 問(保護者)	実施日	児童・生徒			保護者				教職員			考 察
					小	中	平均	小	中	平均	(わからぬ)	小	中	平均	
みんな仲良く生活する子どもになろう	1	生徒指導 いじめ・不登校防止	学校は、子供を理解し、悩みや課題に丁寧に寄り添うなど、いじめや不登校がない学校づくりに取り組んでいる。	R6.12	3.9	3.4	3.8	3.6	3.0	3.4	0人	3.8	3.5	3.6	中保護者の数値が今回大きく伸びた。それぞれの事案に対し丁寧に取り組んでいる姿勢が評価されていると思われる。今後も自信をもって継続し、より丁寧な対応を心掛ける。
				R7.7	3.9	3.4	3.7	3.7	3.4	3.6	0人	4.0	3.4	3.7	
	2	特別支援教育	学校は、お子さんの個性を大切にし、得意・不得意に応じた指導をしている。	R6.12	3.9	3.3	3.8	3.6	3.3	3.6	3人	3.8	3.5	3.6	回を重ねるごとに、少しずつ数値を伸ばし続けている。今後とも長所をより伸ばしていく指導を心掛けたい。
				R7.7	3.9	3.4	3.7	3.8	3.3	3.6	2人	4.0	3.6	3.7	
深く考え進んで勉強する子どもになろう	3	授業改善	学校は、お子さんが主体的に参加したり話し合ったりする授業作りをしている。	R6.12	3.8	3.3	3.6	3.7	3.0	3.5	1人	3.6	3.0	3.4	数値は三者とも上昇。特に小保護者の数値が高い。引き続きより子供の考えや意見を引き出し、尊重する授業づくりを意識して取り組んでほしい。
				R7.7	3.8	3.4	3.7	3.9	3.4	3.7	1人	3.8	3.3	3.5	
	4	家庭学習	学校は、お子さんの家庭での学習習慣が身につくよう、取り組み方を指導している。	R6.12	3.7	3.0	3.5	3.7	3.5	3.6	2人	2.8	2.5	2.8	中3生徒の数値が特に低く2.4となっている。特にこの項目については1の評価を付した生徒も複数名おり、そもそもの学習への取り組み方がわからない状態であることが推察される。宿題等の課題学習も含め、必然性のある取り組みを幼少期から計画的に積み重ねることを通じて、自主的な学習姿勢を養っていく必要がある。
				R7.7	3.6	2.9	3.4	3.7	3.4	3.6	3人	3.2	2.6	3.0	
健康な体と心をつくる子どもになろう	5	保健管理	学校は、お子さんの心と体が健康で安全な生活ができるように努めている。	R6.12	3.7	3.3	3.6	3.5	3.4	3.5	0人	3.9	3.5	3.6	総じて高めの評価が継続している。引き続き子供の心の変化を敏感にとらえ、丁寧な対応していくことが大切。
				R7.7	3.8	3.2	3.6	3.6	3.4	3.5	1人	4.0	3.6	3.8	
	6	体力向上	学校は、お子さんの体力を向上させるための取組を行っている。	R6.12	3.9	3.1	3.7	3.6	3.0	3.5	2人	3.9	3.8	3.8	中保護者と生徒の数値は大きく上昇。今後も継続的に朝運動などの取組を行っていくことが大切。また、より発達段階に応じた内容を吟味していく。
				R7.7	3.9	3.4	3.7	3.6	3.5	3.5	2人	4.0	3.6	3.8	
きまりを守り最後までやりぬく子どもになろう	7	道徳教育	学校は、「きまりを守る」「相手を思いやる」などの道徳性を身につけるための指導を行っている。	R6.12	3.8	3.3	3.7	3.5	3.0	3.4	0人	3.6	2.8	3.4	中保護者の数値は、回を重ねるごとに徐々に改善傾向にある。中教職員の数値は大幅アップ。すぐに効果が見えるものではないので、日常からの地道な取り組みの積み重ねを今後も行っていく。
				R7.7	4.0	3.2	3.7	3.8	3.1	3.6	0人	3.8	3.3	3.6	
	8	キャリア教育	学校は、子供一人ひとりが自立を目指して成長できる教育活動を行っている。	R6.12	3.7	3.1	3.5	3.6	3.0	3.5	4人	3.4	2.8	3.2	中学校の数値が三者とも低めではあるものの、中生徒の数値はわずかながら上昇。これからも地道に、様々な体験的活動等を通じて、意図的・計画的なキャリア教育を推進していく必要がある。
				R7.7	3.9	3.2	3.7	3.6	3.0	3.4	1人	3.8	2.7	3.3	
身のまわりを美しくできる子どもになろう	9	生活習慣	学校は、子供に望ましい基本的な生活習慣が身につくよう、指導している。	R6.12	3.8	3.2	3.6	3.7	3.2	3.6	3人	3.1	2.7	3.0	子供たち、保護者の評価は高めで推移。反面、教職員は低めで推移。教師が意識して指導を行うとともに、学校が望む基本的な生活習慣がどのようなものであるかを再度周知し、保護者の理解と協力を得ながら取り組むことが大切。
				R7.7	3.9	3.3	3.7	3.7	3.3	3.5	2人	3.0	2.7	2.9	
	10	環境美化	学校は、校内の環境美化に努め、子供たちに整理整頓の大切さや意味について指導している。	R6.12	3.8	3.3	3.7	3.6	3.5	3.6	4人	3.1	2.5	2.8	教職員の評価が上昇した半面、中保護者の評価が大きく下落している。総じてみれば満足できる数値の範囲にはあるものの、改善を図る必要がある。特に外部からの来客の目に触れる場所の美化については重点的に実施する必要がある。
				R7.7	3.9	3.5	3.8	3.6	3.0	3.4	2人	3.4	3.0	3.3	
その他	11	安全管理	学校は、避難訓練、登下校指導など、非常時や日常の防災・安全指導を行っている。	R6.12	3.9	3.7	3.8	3.7	3.4	3.6	0人	3.6	3.7	3.6	三者とも比較的高評価。特に小児童は全員が4をつけた。今後も命を守るための行動、危険回避方法等を身に付けさせるよう指導していくとともに、より安全意識を高めていくようにすることが大切。また、実際の災害場面より想定した内容に改善していくことも大切。
				R7.7	4.0	3.8	3.9	3.7	3.5	3.6	1人	3.6	3.7	3.7	
	12	家庭・地域との連携	学校は、授業参観やお便り、家庭訪問、電話、ホームページなど、家庭や地域との連携に努めている。	R6.12				3.8	3.7	3.7	1人	4.0	3.8	3.8	保護者・教職員とも引き続き高評価(全員が3以上)。これからも情報発信等を丁寧に行之、より綿密な連携を図る。
				R7.7				3.7	3.6	3.7	0人	4.0	3.7	3.9	

自由記述	児童		いずみせんせい、いつもあそんでくれてありがとう	せんせいがたは、せいりせいとんにつきをくばってください	※一人の評価が1ポイント変動すると、平均は0.2～0.3ポイント変動する。全体的に増減はあるものの、数値だけを見て良し悪しを決めるのではないよう、反面、数値として見取れることは真摯に受け止め、改善に向けた検討をしていきましょう。
		小1	いずみせんせいかわいい	あそんでくれてありがとう	
			いずみせんせい、いつもあそんでくれてありがとう		
		小3	谷先生大好き	みんな優しくね	
		小4	いつも元気にしてます		
	生徒		その日の自分の態度で授業してくるのがやだ	昼休みしてほしい 1時間終わった後の10分休憩を20分休憩にしてほしい 昼寝したい	・家庭学習については、毎回保護者評価が高い傾向にある。一方で「わからない」と回答する保護者も多め。学校の取組には一定程度の理解を示してくれているが、生徒の実態が伴わないことによるものではないか。特に中学生については学習の仕方そのものがわからない子も多いと思われる。上位学年に行くにしたがって自主学習に取り組む姿が理想的ではあるが、より強制力が働く「宿題」を実態に応じて継続的に課すなどしながら、学習習慣の形成を図る必要がある。
		中3	10分休みを15分休みに変えてほしい 体育館を使える日を昼休みは中学生で中休みは小学生が使えるようにしてください本当にお願いしますお願いします！！あと未来の中学生が楽になるように絶対中体運終わった後は絶対に振替休日取らないと一週間死ぬしみんな機嫌が悪くなります。あと有給みたいに好きな時に休みとれるようにしてください。あと小学生の50分授業絶対やめてくださいお願いします。小学生が50分になると小学生の中休みがほぼなくなって中学生は昼休み小学生は中休みっていうのができなくなるんです本当にまじで もっと生徒の意見を聞いてほしいです		
	保護者	行事について	小1 最高でしたよ		・安全管理、家庭地域連携(情報発信)では毎回高評価を得ている。三者にとって安心、安全な学校をつくっていくためにも、今後も随所で丁寧な対応を行っていくことが大切。
			小6 運動会:人数の少ない中でも精一杯力を出してやっている姿が見れた事が嬉しかったです。		
			小6 浅利掘り授業参加させていただきました。子供達もとても楽しそうでしたね！先生達や小学生と中学生が一緒に班で協力している姿を見て、散布小中学校のいいとこだなーいつも思います。実際に自分達で掘った浅利を消費者の人達に販売または配布等をやってみてはどうですか？直接自分達の力で届ける事で散布産の浅利の素晴らしさや魅力に今よりも、もっと気づけるのではないのでしょうか。		
			中1 奉仕作業、運動会ともに天候に恵まれて良かったです！		
			中3 運動会最高でした みんないきあって良かったです		
			中3 運動会:精一杯の気持ちで頑張る姿が見れました。		
		その他	小5 汗だくで帰ってくるので、去年までのように、うちわ等を持たせてあげたいです		・小中の系統性を考え、より一層の連携を図っていくことが大切。連絡、相談を密にし、情報等の共有をしっかりと行い、「チーム学校」で対応していくことが、ぶれない対応に繋がる。
			小6 今後ともよろしくお願いします。		
			中1 現在、暑い日だけジャージ登校可になってますが、頻度が増えるようであれば七月、八月はジャージ登校を基本として、必要な時に制服登校、持参登校に変更した方が先生達も子供達も楽なのかな？と思いました。今回登校後のメールだったので…ご検討お願いします！		
			中3 最後の中体運、先生方から沢山差し入れありがとうございました。今年は顧問の先生が釧路から来てるので部活の参加人数が少ない時は休みにしてもいいのかな？と思いました。先生方の熱意に感謝です		
			中3 思春期の難しい状態の子を何人も見て担任する先生の大変さを感じます。		
	教職員		これからも教員間で指導観の共有を常々できるといいです…。		